

## 岸和田市議会議員 友永 修 (ともながおさむ)

みなさまのお声を実現！26年度予算に反映しました！

☆公明党岸和田市議団として、これまで数多くの政策提案や助成措置、予算要望等を行って参りました。この度、平成26年度の当初予算に数多く反映され、皆様の声を実現する事が出来ました。

- 妊婦健康診査公費助成の拡充(妊婦健診の一人あたりの公費負担額を95,000円に拡充)
- 乳幼児等医療助成対象者の拡大(乳幼児等医療費の通院に係る助成対象年齢を小学校就学前から小学校1年生年度末まで拡大)
- 特別支援教育支援員の増員(特別な配慮を要する児童生徒に対して学習上のサポートを行う支援員を12名から15名に増員)
- 防災福祉コミュニティ活動支援(町会・自治会で構成される防災福祉コミュニティに対する活動支援として防災資機材整備に助成)
- 一時預かり保育事業実施園の拡大(公立保育所1園で実施している一時預かり事業を新たに民間保育所1園に実施委託をし2園で実施する)
- 女性のがん検診のさらなる啓発拡大(がん検診無料クーポン配布者で受診されていない方へ再度の配布や未受診勧奨の強化で受診率向上へ) などなど…
- 医療的ケアが可能な障がい児の日中活動の場・入所施設などへ看護師配置に対する補助制度を実現！環境改善へ一歩前進！！

**今後さらなる拡大・拡充を進めて参ります！**



### “友ちゃん”のつぶやき

いつも議会活動に、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。3月議会では平成25年度補正予算及び平成26年度の当初予算案の審議が行われました。国では、待機児童の解消や防災・減災、インフラの老朽化対策などの自治体が使える予算が増額されています。より迅速に、より効果的に予算が実行できるよう具体的に示して参ります。また、超高齢社会への対応に欠かせない喫緊の課題の一つに「地域包括ケアシステムの具体化」があります。これは、住み慣れた地域内で医療や介護、生活支援などのサービスを一体的に提供するシステムの構築であり、小規模特別養護老人ホームなどの施設整備の促進や、認知症の患者・家族を支援する施策などへの国予算を活用し岸和田市に合ったシステムを築けるかが重要であります。地域の声に、耳を傾け安心して暮らせるよう全力で努めてまいります。また、「生活困窮者自立支援法」が成立しました。生活保護に至る前に、困窮状態から脱してもらうとともに、困窮者支援を通じて働く場や地域のネットワークづくりなどを、本市においてもしっかりと構築出来るよう先頭にたって推進してまいります！！



ひとりの人を大切に！

いつも感謝の心で！